

おおぞら 12月

おおぞらファームで最後に収穫したヤーコンは、栄養価が高く、保存もしやすく、いろいろな料理にも合う上シャキシャキして歯触りがとても良い野菜でした。来年はもっとたくさん育てようと思います。

12月の予定

- ・ 7日(火)~10日(金) …… もちつき (先日お知らせした日程で組ごとに行います)
 ※駐車場は必ず前田中央会館をご利用下さい。
- ・ 18日(土) …… 望年会&バザール
- ・ 24日(金) …… 終業日 —— 冬の集会
- ・ 27日(月) ~1月17日(月) …… 冬休み

1月の予定

- ・ 18日(火) 始業日 お弁当を持ってきて下さい。

12月の参観日と写真掲示

1日(水) ~ 10日(金) です。写真掲示も同じ日程です (先日のお知らせを変更します)。

参観についてのお願い

1. 参観は廊下からして下さい。教室には入らないで下さい。
(いちよう・かえで・らいらく組は教室に入して下さい。)
2. 参観中は、子どもに声をかけないで下さい。親が制作等の活動と一緒に参加したり、下のお子さんを園児と一緒に座らせたりもしないで下さい。

冬の集会 12月24日(金)

子ども達がホールで集会を開きます。「クリスマスの本当のお話」や、世界中の子ども達の生活、食べ物のお話を園長から聞きます。みんなで歌を歌ったり、教師のバンド演奏やコーラスもあります。(この日は参観はできません) 子ども達にする話の中に次の様な内容があります。

「皆さんは、毎年クリスマスやお正月にはプレゼントやお年玉をもらい、ケーキなどいろいろなごちそうを食べますね。でも世界中に貧しくて住む家や服や食べ物もなくて、とても困っている人達が大勢います。特に身体も小さく弱い子ども達が、病気になったり死んだりしています。皆さんはとても幸せに暮らしていますが、そうでない

子ども達もとても多い事を知って下さい。私のクリスマスプレゼントは、皆さんをサンタクロースにしてあげる事です。ずっと前まで、クリスマスには皆さんに私からプレゼントをあげていましたが、今は、皆さんにあげるプレゼントを買う分のお金を、食べ物もなく困っている子ども達に送っています。皆さんは自分がもらうはずだったプレゼントをもらわずに、その分のお金を貧しい子ども達にあげることになります。その子ども達にとっては、皆さんは食べ物をプレゼントしてくれたサンタクロースということです。」

園長の話に、子ども達は「それでいいよ」と答えます。今回少し意味がわからない子でも、そのうち理解できる時が来るでしょう。

当園では4年前から、子ども達へのクリスマスプレゼントを「WFP（世界食糧計画）」を通じて学校給食プログラムへ、その予算分を寄付しています。ですから子ども達への形のあるプレゼントはありません。過去4年間で122万5千円余りを寄付しました。5千円で一人の子どもに1年間、学校給食を提供できます。ご理解下さい。

クリスマスの本当のお話

毎日、世界のどこかでお祭りがおこなわれているかもしれません。でも北極に近いフィンランドの人も、南極に近いアルゼンチンの人もアメリカの人もオーストラリアの人もいっしょに、はなやかに祝うお祭りはクリスマスだけです。世界一大きなお祭りといえるかもしれません。

北ヨーロッパの冬はとても厳しいものです。夜の明けるのはおそく、日ぐれは早くやってきます。長い夜はまったくのやみ。まるで死の世界の様です。そんな日がある日もくる日もつづき、もう春なんてこないのではないかと不安になるほどです。でも冬至をさかいに、すこしずつ日が長くなり、季節は冬から春へとかわっていきます。そこでむかしから北ヨーロッパの人たちは、この日を「光の生まれる日」としてお祝いしてきました。また、この日のくるのを待って、やどりぎやひいらぎ、もみの木の枝を家の中や入口にかざりました。これらの木の枝は、いつもこい緑の葉をつけていて、健康や豊作を与えてくれる魔法の力があると信じられていたのです。日本の門松とにしていますね。クリスマスツリーは400年ほど前にドイツではじまったといわれています。

今から1600年もまえのこと、ヨーロッパの東、小アジアのミラという町に、ニコラスという男の子が生まれました。やがて成人して司教になりセント・ニコラスと呼ばれて、多くの人の尊敬をうけるようになりました。子ども達に贈り物をするというのでたいへんな人気でした。子ども達はセント・ニコラスが大好きで、何度もなんども名をよんでいるうちに、もっといいやすいサンタクロースというよび名にかわったのです。また、むちうちおじさんをつれてくることもありました。このむちうちおじさんは、こらしめの袋をかついで、かた手に木の枝のむちを持ってあらわれます。そしていい子にはごほうびをくれますが、わるい子は袋に入れてつれていっちゃうぞというのです。

イエスキリストの本当の誕生日は誰も知りません。聖書にあるイエス誕生の物語にはその日がいつだったか書かれていないのです。それなのになぜ12月25日がイエスの誕生日になったのでしょうか。キリスト教ではイエスの誕生はとても大切な意味をもっているのに、日にちがはっきりしないのでは困ります。それで、一時は1月6日、公現祭の日（イエスが3人の博士にあった日）にお祝いしていました。その後、古い暦で「光の生まれる日」といわれていた12月25日がふさわしいと考えられる様になったのです。今から1600年以上まえのことです。

1989年12月号（月刊）たくさんのふしぎ「クリスマス・クリスマス」より

文字の練習（年長組）

4月から文字の指導をしています。園では毎日教師から絵本を読んでもらったり、自由時間に自分で見たりしていますし、家でも幼稚園に入る前から親に絵本を読んでもらっている子もたくさんいます。文字を見る機会も多く、自然に覚えてしまう子もいますが、文字に興味を持ち始める時に正しい教え方をする必要があると考え、昨年は10月から教え、卒園証書に子ども達が短い文を書きましたが、今年はもう少しまとまった文章が書けるように教えようと考えています。「文字を覚える」のが目的ではなく、「その時々思いや考えを文字にして残す、伝える」ことを目指しています。子ども達の遊びや自然探索、制作などの経験を友達や親に伝えたい、自分の考えを知ってほしいという時に、言葉はその時その場にいる人にしか伝えることができませんが、文字にするともっと広い範囲に伝えられる事を教えています。豊かな経験があつて初めて、文字や言葉が役立つのであって、乏しい経験から豊かな言葉は生まれませんし、人に伝えるための文字もあまり必要ないでしょう。いろいろな経験が基本です。毎日10～15分練習して、現在は短い文章を書ける子も増えています。

ダンボールでの制作

縦160cm×横90cmのダンボール板300枚を小樽の工場で作ってもらいました。これを使ってホールに「世界の国」を作ります。もも・さくら組はフランス、さくらんぼ・りんご組はイタリア、はるにれ組はカナダ、ほぷら組はガーナ、しらかば組はインド、いちよう組はイギリス、らいらく組はハワイ（アメリカ）、くり組はギリシャ、くるみ組はアイスランド、あかしあ組はドイツ、かえで組はケニアです。教師がいろいろな国を紹介して、子ども達が決めました。先日からその国の食べ物などの小物を作っています。今週からホールに建物を作り始めました。12月1日からはホールで遊びます。12月10日まで約3週間続く活動です。子ども達に日本以外にも多くの国があり、いろいろな人達が生活している事、世界の異なる文化を少しでも知らせたいと考えています。

冬の身支度

寒くなるに従って、子ども達は着ている服が多くなります。ホールなどで活発に遊ぶとすぐ暑くなりますので、着脱のしやすい服にして下さい。名前も必ず書いて下さい。また、長すぎるマフラーなどは階段の手すりなどに引っかけて危険です。

希望購入のお知らせ

★ご希望の方は、お申し込み下さい。

1. 運動会のDVD → 北海道カラーサップ口から（申し込みは12月2日（木）まで）
2. 冬休みの絵本 → こどものとも社から（申し込みは11月29日（月）まで）
3. ランドセル（年長） → 直接「こどものとも社」へ

内科検診

園医と日程を調整中です。同時期に身体測定もします。